

[令和 5 年 3 月 2 日県土整備常任委員会]

◆宇野裕 委員 これまで本委員会において何度か同様の趣旨の質問も、この後あるわけではありますが、ここで改めて 4 点質問をさせていただきたいと思います。

まず、広域的な幹線道路ネットワークにアクセスする道路の整備についてお伺いをさせていただきたいと思います。銚子連絡道路であります。銚子連絡道路は、圏央道に接続し、山武・東総地域の広域的な幹線道路ネットワークを形成するとともに、農林水産物の販路拡大や地域経済の活性化を図り、防災力を向上させ、さらには旭中央病院等医療施設への救急搬送時間を短縮させる効果も大いに期待ができる、大変重要な道路だと認識をしているところであります。現在、横芝光町から匝瑳市間については、12 月議会の本委員会での現場視察において、委員の皆様と一緒に令和 5 年度の開通に向けて順調に進められているのを確認をさせていただきました。これに続く匝瑳市から旭市間についても、今年度より新規事業化し、測量等を実施していただいております。ありがとうございます。整備中区間が令和 5 年度中に供用し、匝瑳市から旭市間についても一日も早く整備いただくことで、私の地元の匝瑳市のポテンシャルを十分に発揮できるだけではなくて、旭市、銚子市も含めた東総地域の活性化につながるものと考えているところであります。

そこでお伺いをいたします。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の取組状況はどうか。よろしくをお願いします。

◎説明者（大塚道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道路の取組状況についてですが、銚子連絡道路の匝瑳市から旭市までの 13 キロメートル区間については、現在、全線にわたって地形測量や地質調査を実施しています。今後、主要な構造物などを計画し、道路幅を決定するための道路予備設計に着手してまいります。

以上です。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。

次に、高速道路インターチェンジ等を生かした産業の受皿づくりについてお伺いをいたします。

ただいまの質問でも触れさせていただきましたように、令和 6 年 3 月までには匝瑳市まで銚子連絡道路が開通をし、私の地元でも産業立地のポテンシャルの高まりが期待されているところであります。匝瑳市では、宮内市長のリーダーシップの下、産業用地の候補地検討に着手し、本年 1 月、地元で産業誘致の意向等を確認するアンケートを行い、今後は地元と合意形成を図りながら、土地利用計画案の策定や開発事業者の意向調査などを進めていくこととなります。また、これまで県では産業の受皿づくりに係る基本方針に基づき市町村の支援を進め、地元説明会の開催や事業協力者の選

定など、事業化に向けステージが上がる市町村も出てきていると聞いております。今後、圏央道の全線開通などにより、さらに県に対し支援を要請する市町村が増えるほか、具体的な開発計画での土地利用調整など、県の支援への期待もこれまで以上に高くなると予想されます。

そこでお伺いをいたします。市町村の要請に対して、今後県としてどのように取り組むのか。よろしくお願いします。

◎説明者（横土都市計画課長） 都市計画課でございます。

市町村が行う産業の受皿づくりへの支援を強化するため、令和5年度から都市計画課のまちづくり支援班をまちづくり支援室へ改組することとしています。市町村の検討段階に応じ、産業用地の検討を始める市町村に対しては、候補地選定の考え方や計画の具体化に向けた手順などについて助言を行ってまいります。また、候補地を選定した市町村には地元説明会や事業協力者の公募などについて、また、ステージがさらに進んだ市町村へは土地利用調整の進め方などについて助言を行うなど、案件ごとの特性や実情に応じたきめ細やかな支援を行ってまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

次に、匝瑳地域で進めている海岸侵食対策についてお伺いをいたします。

匝瑳市の海岸は、かつては白砂青松の続く雄大な海岸線が広がっておりました。しかし、砂の供給量が減少したことなどにより砂浜が徐々に削られたことから、県ではこれまでに侵食対策の一環として、緩傾斜護岸やヘッドランドの整備を行いました。これらの整備により、匝瑳市の海岸では侵食の進行を抑えることができましたが、九十九里浜の他の海岸ではさらに侵食が進んだことから、県では令和2年7月に九十九里浜全体を対象とした九十九里浜侵食対策計画を策定し、侵食対策に取り組んでいるところと聞いております。この計画では、匝瑳市域においてヘッドランドの整備や養浜等の侵食対策が計画されており、地元としては、かつての美しい砂浜が回復し、海岸のにぎわいが戻ることを願っているところであります。

そこでお伺いをいたします。匝瑳市域における海岸侵食対策の進捗状況はどうか。よろしくお願いします。

◎説明者（松宮河川整備課長） 河川整備課でございます。

匝瑳市域では、野手海岸におきまして、九十九里浜侵食対策計画に基づきまして、ヘッドランドの整備と養浜を組合せた対策により、砂浜の回復、維持に取り組んでいるところでございます。このうち、令和3年度までに計画に基づくヘッドランドの整備が完了しておりまして、養浜につきましては実施に向けて関係者と調整を進めているところでございます。引き続き、関係者の御理解と御協力をいただきながら、匝瑳市域における海岸侵食対策を推進してまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、急傾斜地崩壊対策について伺いをいたします。

近年、全国各地で記録的な大雨による甚大な被害が発生しております。本県においても、令和元年 10 月の豪雨では、県内各地で多くの崖崩れによる被害が発生しました。一方、匝瑳市内では防護施設が整備されていたため、崩れた土砂を施設で受け止め、被害を防ぐことができたところもありました。土砂災害から県民の生命を守るためには、もちろん避難体制の構築といったソフト対策も重要ではありますが、改めてハード対策の重要性を再認識したところであります。

現在、匝瑳市吉田の谷地区においては、地元の協力をいただき、県でハード対策である急傾斜地の崩壊対策事業が進められているところです。

そこでお伺いをいたします。匝瑳市吉田における急傾斜地崩壊対策事業の実施状況はどうか、よろしくお願いいたします。

◎説明者（松宮河川整備課長） 河川整備課でございます。

匝瑳市吉田では、急傾斜地崩壊防止区域の谷地区におきまして、今年度から急傾斜地崩壊の対策工事に着手したところでございます。現在斜面上部がオーバーハングとなっておりまして、不安定な斜面となっている箇所から、のり砕工などの斜面对策を実施しているところでございます。引き続き地元の皆様の御協力をいただきながら、残る斜面对策を進めてまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございました。今回質問させていただきました事業は、匝瑳市、そして東総地域の住民の方々にとりましては、どの事業も関心と期待の大変高い事業でありますので、引き続き全力で取り組んでいただきますよう要望いたしまして、質問を終わります。ありがとうございます。